

# 米子市のお財布事情

## ～平成28年度決算の状況～

### 一般会計

平成28年度の一般会計は歳入の総額が646億1,678万円、歳出の総額が630億5,652万円となり、翌年度へ繰り越した事業を実施するための財源を除いた実質収支は12億7,778万円で、黒字決算となりました。

私たちの税金は、どんなことに使われているのかな？

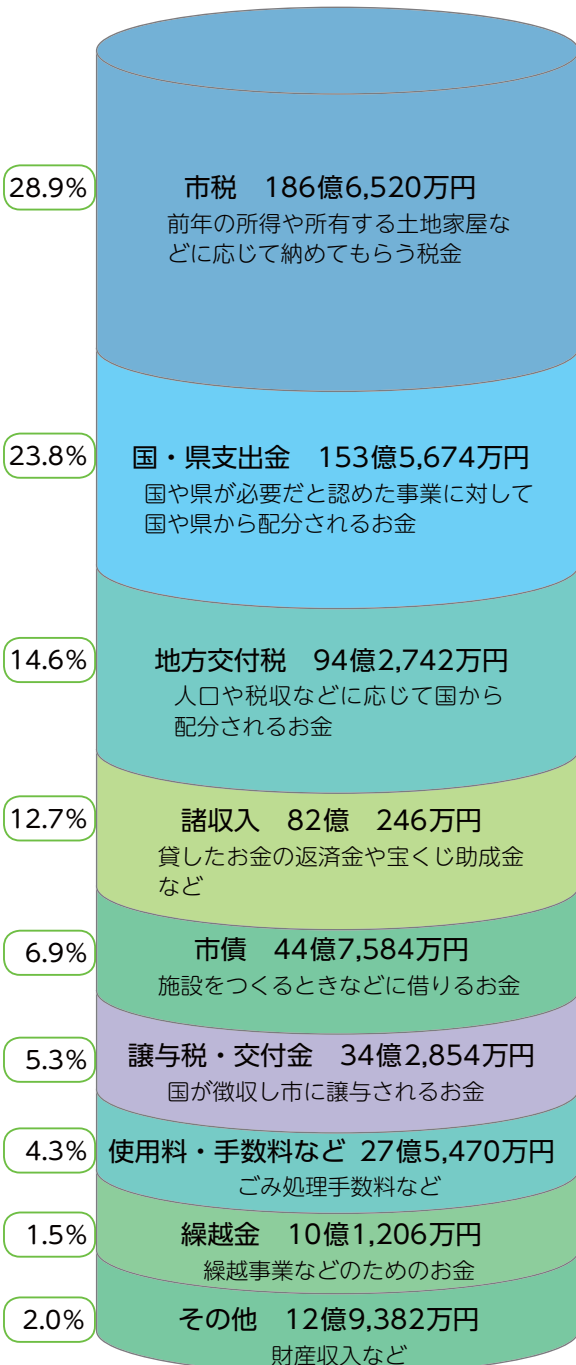


**歳入総額 646億1,678万円**  
前年度比 17億368万円減 (▲2.6%)

**歳出総額 630億5,652万円**  
前年度比 22億5,187万円減 (▲3.4%)

(▲はマイナス)

差引額15億6,025万円のうち、翌年度に繰り越すべき財源は2億8,248万円でした。



市税 186億6,520万円  
前年の所得や所有する土地家屋などに応じて納めてもらう税金

国・県支出金 153億5,674万円  
国や県が必要だと認めた事業に対して国や県から配分されるお金

地方交付税 94億2,742万円  
人口や税収などに応じて国から配分されるお金

諸収入 82億246万円  
貸したお金の返済金や宝くじ助成金など

市債 44億7,584万円  
施設をつくる時などに借りるお金

譲与税・交付金 34億2,854万円  
国が徴収し市に譲与されるお金

使用料・手数料など 27億5,470万円  
ごみ処理手数料など

繰越金 10億1,206万円  
繰越事業などのためのお金

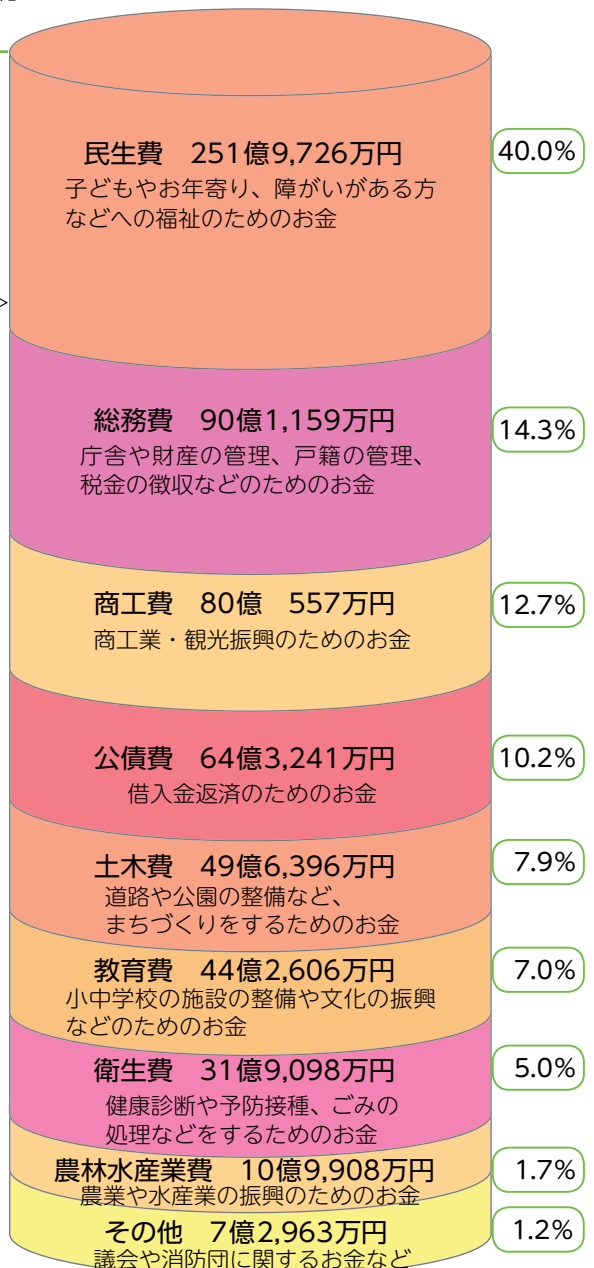
その他 12億9,382万円  
財産収入など

市民税や固定資産税の増などにより、約3億6千万円増加しました。

扶助費(※)の増などにより、約11億6千万円増加しました。

※扶助費とは…  
法令に基づいた生活保護費や児童手当などの支給や、市が単独で行なう各種扶助のための経費

地方消費税交付金や株式等譲渡所得割交付金の減などにより、約3億6千万円減少しました。



民生費 251億9,726万円  
子どもやお年寄り、障がいがある方などへの福祉のためのお金

総務費 90億1,159万円  
庁舎や財産の管理、戸籍の管理、税金の徴収などのためのお金

商工費 80億557万円  
商工業・観光振興のためのお金

公債費 64億3,241万円  
借入金返済のためのお金

土木費 49億6,396万円  
道路や公園の整備など、まちづくりをするためのお金

教育費 44億2,606万円  
小中学校の施設の整備や文化の振興などのためのお金

衛生費 31億9,098万円  
健康診断や予防接種、ごみの処理などをするためのお金

農林水産業費 10億9,908万円  
農業や水産業の振興のためのお金

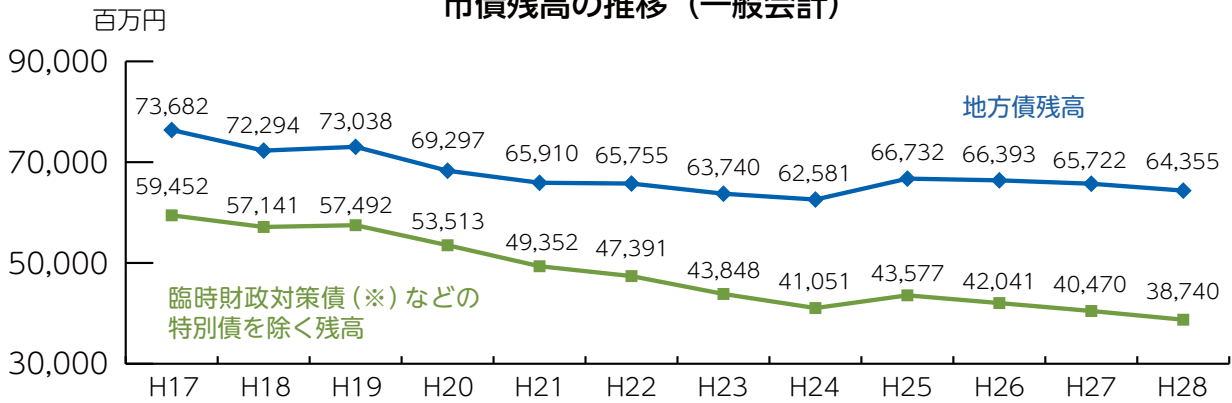
その他 7億2,963万円  
議会や消防団に関するお金など

※数値は、項目ごとに四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

## ◆市の借金（市債）

平成28年度末の市債残高は、借入れ額を抑制したため前年度より減少し、約644億円です。

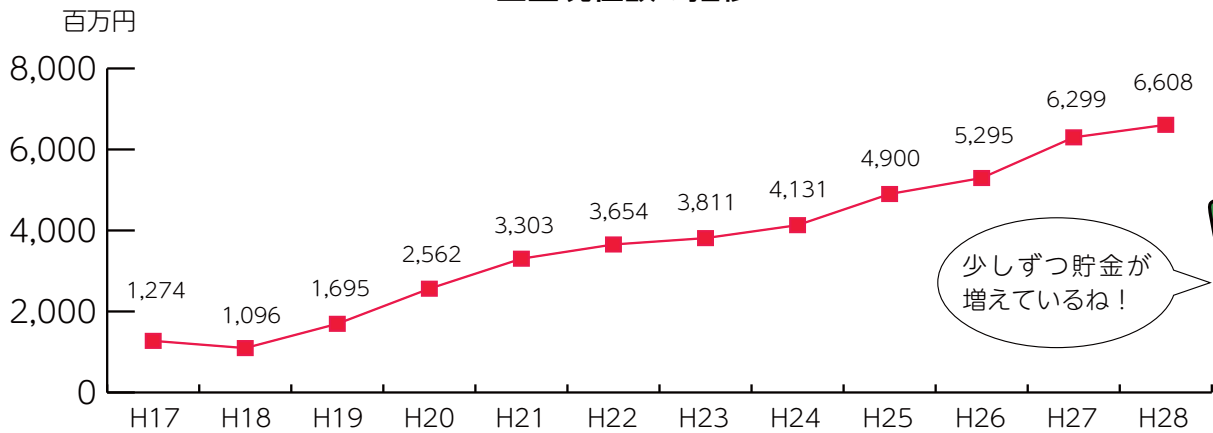
### 市債残高の推移（一般会計）



※臨時財政対策債とは…地方交付税の不足分をまかなうため、地方交付税の代わりとして自治体が借りることのできる地方債

## ◆市の貯金（基金）

### 基金現在額の推移



少しずつ貯金が増えてきているね！



## 特別会計

公営企業のような特定の事業を行なう場合には、特定の歳入を特定の歳出に充てるため、一般会計と区別して特別会計を設置しています。

(▲はマイナス)

会計名	歳入 (A)	歳出 (B)	対前年度比	
			対前年度比	収支差引額 (A - B)
国民健康保険事業	170億6,971万円	171億5,521万円	▲4.2%	▲8,550万円
住宅資金貸付事業	673万円	1億8,590万円	▲3.2%	▲1億7,917万円
土地取得事業	5,678万円	5,678万円	▲88.5%	0円
下水道事業	64億460万円	60億9,209万円	0.4%	3億1,251万円
駐車場事業	7,559万円	6億3,797万円	▲9.8%	▲5億6,238万円
農業集落排水事業	7億1,293万円	7億1,009万円	5.3%	284万円
市営墓地事業	2,706万円	1,871万円	▲0.5%	835万円
介護保険事業	141億6,655万円	136億1,388万円	▲0.6%	5億5,267万円
後期高齢者医療	16億7,086万円	16億6,555万円	3.4%	531万円

## 企業会計

### 上水道事業

(事業内容) 老朽管の更新

耐震型配水管の布設など

収益的収支 (水道料金などでの収支)	
収益的収入	36億6,016万円
収益的支出	27億9,445万円
差引額	8億6,571万円
資本的収支 (建設改良などでの収支)	
資本的収入	31億1,099万円
資本的支出	36億895万円
差引額	▲4億9,796万円

### 工業用水道事業

(事業内容)

取水・送配水設備の保守管理など

収益的収支 (水道料金などでの収支)	
収益的収入	2,276万円
収益的支出	1,871万円
差引額	405万円
資本的収支 (建設改良などでの収支)	
資本的収入	0円
資本的支出	291万円
差引額	▲291万円

# 財政の健全性に関する比率を公表します

地方公共団体の財政の健全化に関する法律により、4つの健全化判断比率と資金不足比率を公表します。

これらの比率は、自治体の財政の悪化の兆候を見つけて、早めに財政状況を改善させることにより財政破綻を未然に防ぐことを目的として、国が法律で定めたものです。

平成28年度決算においては、前年度と同様に実質赤字比率および連結実質赤字比率に赤字は生じていません。また、実質公債費比率および将来負担比率はともに低減しました。

引き続き財政の健全化  
に取り組まないとね！



## 【健全化判断比率】

平成28年度決算における米子市の健全化判断比率は、いずれの比率も早期健全化基準を下回っています。

指標・説明		28年度	27年度	26年度	早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	標準財政規模 <sup>*1</sup> に対する一般会計などの赤字の割合	赤字なし	赤字なし	赤字なし	11.74% 以上	20.00% 以上
連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計の赤字の割合	赤字なし	赤字なし	赤字なし	16.74% 以上	30.00% 以上
実質公債費比率	標準財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額などの割合	13.6%	15.2%	16.8%	25.0% 以上	35.0% 以上
将来負担比率	標準財政規模に対する将来市が支払う借入金返済額などの割合	124.8%	134.1%	153.5%	350.0% 以上	

## 【資金不足比率<sup>\*2</sup>】

すべての公営企業会計において、資金不足額は生じていません。

公営企業会計名	28年度	経営健全化基準
水道事業会計	資金不足なし	20.0% 以上
工業用水道事業会計	資金不足なし	
下水道事業特別会計	資金不足なし	
農業集落排水事業特別会計	資金不足なし	

## 参考

### ※1 標準財政規模とは

自治体が通常の行政サービスを提供するために必要な一般財源をどの程度持っているのかを表す指標で、市税と普通交付税が主なものです。

### ※2 資金不足比率とは

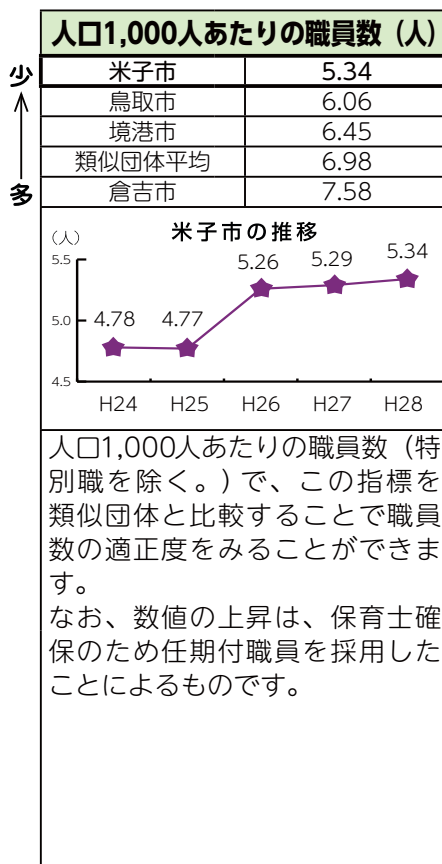
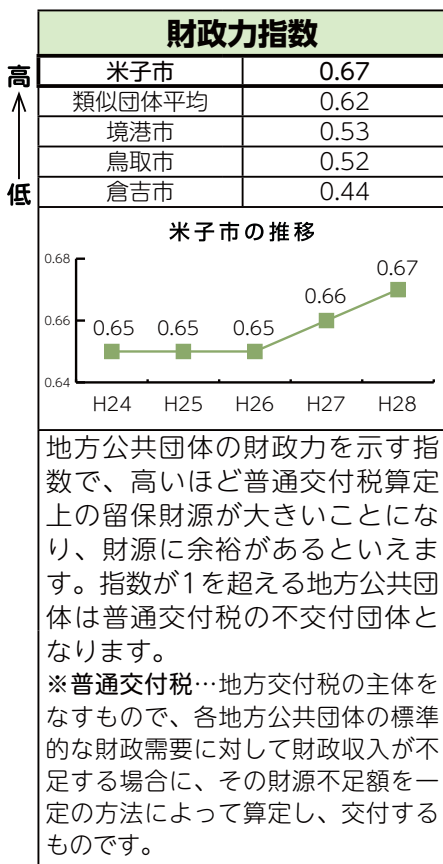
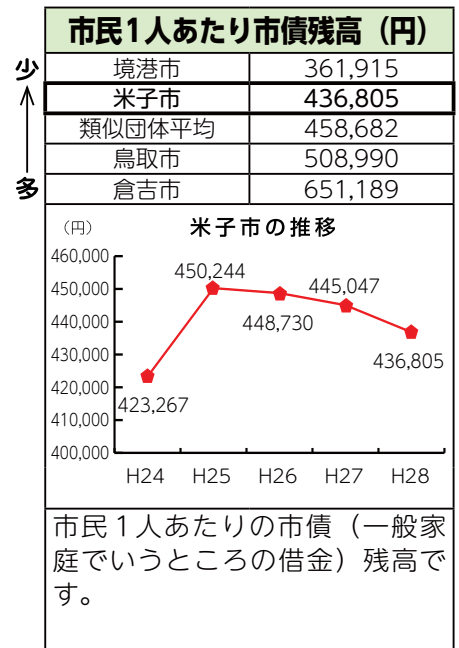
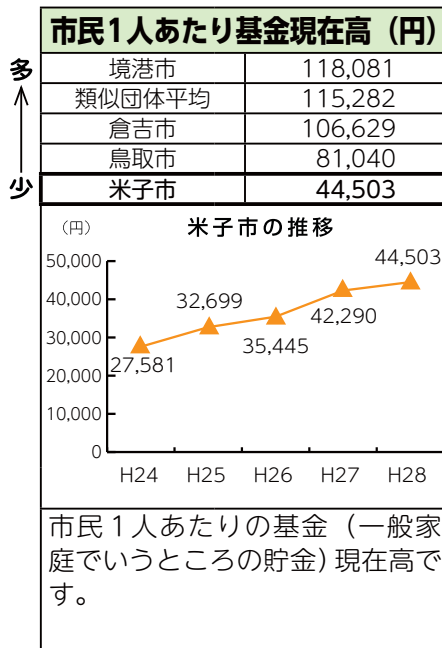
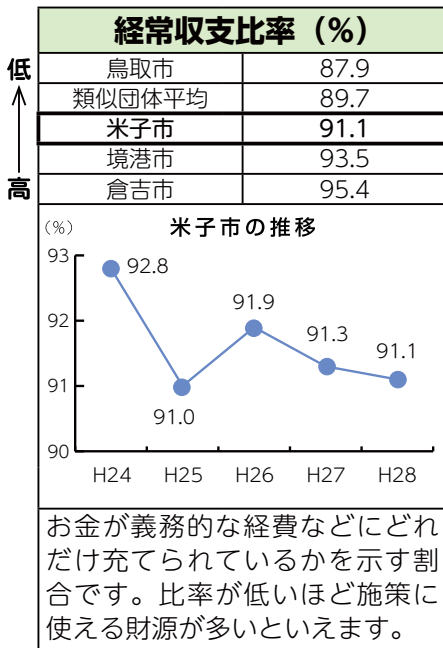
公営企業ごとの事業規模に対する資金不足額の割合です。

※健全化判断比率・資金不足比率の算定方法は、米子市ホームページの「健全化判断比率・資金不足比率」に掲載しています。(URL <http://www.city.yonago.lg.jp/8410.htm>)

■問合せ 財政課 (☎23-5322、FAX23-5390)

# 米子市の財政指数

(普通会計ベース)



◆普通会計とは…  
全国の市町村と比較できるように、統一的な基準に基づいた会計区分のことで、米子市の場合は、「一般会計」に「市営墓地事業特別会計」をはじめとする3つの特別会計と「駐車場事業特別会計のうち駐輪場部分」を合わせた会計をいいます。



## 類似団体とは…

全国の市町村を「人口」、「産業構造」の2要素の組合せによって類型ごとに分類したもので、米子市(平成27年度国勢調査149,313人)は、人口10万人～15万人までで、第2次産業と第3次産業の合計が90%未満(うち第3次産業が55%以上)のタイプの都市になります。  
なお、今回の比較では、類似団体の中からさらに面積が類似する団体(16団体)を選びました。

※類似団体平均の数値は、平成28年度地方財政状況調査をもとに算出した速報値(平成29年8月31日現在)です。